

## 終刊に際して

著者	沢木 幹栄
出版者	長野県ことばの会
引用	ことばの研究12: 51(2020)
発行年月日	2020-05-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10091/00022228">http://hdl.handle.net/10091/00022228</a>

終刊に際して

長野県ことばの会は2002年2月から活動を休止している。執行部の意見の食い違いから生じた事態であり、活動を再開する見込みがなかった。一方で、『ことばの研究』は11号まで発行されていてそれなりに歴史のある雑誌である。このままなんとなく消滅するよりは、終刊号を出して外部に対して会の終わりを正式にお知らせするべきだと考え今号を編集した。会費の残がわずかなりとは言えあるので、これを使い切ることによってこれまで会を支えてくれた方々に対する責任を果たすこととしたい。20年近くの長きにわたって沈黙を続けたことに対しては残念と言うほかないが、最後に形になるものを残して会の幕を閉じることとする。

なお、今までのバックナンバーを含めて『ことばの研究』掲載の論文は著者の了解が取れたものを信州大学のリポジトリで公開する予定となっている。少部数のみ発行で知る人ぞ知る存在だった雑誌がネットを使えばどこからでも利用できるようになる。この雑誌はこれよりあと新しく発行されることはないが、リポジトリの公開という新しい生命を得ることをお知らせしたい。

文責 沢木幹栄

【本誌の配布条件・著作権等について】(2020年3月31日)

- ・本誌は、紙媒体配布の他、信州大学附属図書館のリポジトリにも置き、インターネット上での送信可能状態に置く(以下、これを「第一次配布」と称する)。
- ・第一次配布は、学術目的に限って、閲覧の他に次の行為を認められる。
- ・PDFファイルのダウンロード・プリントアウト
- ・利用者は、ファイル内容に一切の変更を加えないことで、再配布(以下、これを「第二次配布」と称する)を認められる。
- ・第二次配布は、学術目的に限り認められる。
- ・以上のように、一定の条件下、無償利用が可能であるが、これは著作権を放棄した「公有財産(public domain)」ではない。本誌の著作権は、執筆者が有する。
- ・著作権者の判断により、予告なしに第一次配布を停止する場合がある。